

経済学部

【どんな学部か】

神戸大学経済学部は、**日本で最も伝統のある経済学研究の拠点大学**の一つであり、関西の国立大学では最大、全国でも有数の規模の講座数と教員数を有しています。経済学は市場全体を対象とし、私たちを取り巻く経済の仕組み、消費者行動、政府の景気政策、企業の戦略的行動、銀行の貸付に関する行動など、様々な経済活動の仕組みを研究する学問です。また、一口に経済学といっても企業と市場の関係を学ぶミクロ経済学や社会全体のお金の動きなどを学ぶマクロ経済学など多数の分野に分かれています。

【経済学と経営学の違い】

経済という学問が「会社でものをつくることができる」ことを前提として、生産の社会的分業を研究するのに対して、経営学は経済という学問が前提としている「会社でものをつくることができる」という部分に着目し、「会社における協働や分業を通じた生産が、ものをうまく作る力を非常に高める」という普遍的な出来事を研究します。また、経済学が**理論志向**なのに對し、経営学は**実務志向**であるという違いもあります。志望する際には、どちらの学部のほうがより自分の学びたいことを学べるのか、よく調べてみてください。

【4年間の流れ】

1 年 生	外国語などの基礎的な知識は鶴甲第一キャンパスで、専門科目は六甲台第一キャンパスで学びます。様々な演習や課題を通して経済にかかわる基礎知識が身に付きます。また、経済を分析するにあたって必要な微分積分や線形代数、統計学も学びます。
2 年 生	本格的に専門的な内容を学びますが、法学部や経営学部といった他の学部の講義も受けられるようになります。後期にはゼミの選考が始まります。
3 年 生	ゼミの配属が決まり、卒業論文作成に向けた研究を始めます。これと並行して就職活動や公務員試験の勉強などもしなくてはいけないので、1、2年生よりは忙しい日々を送っている人が多いようです。
4 年 生	卒業論文を仕上げます。大学院に入るための勉強をする人もいます。

【学部の雰囲気】(男女比→7:3)

最初は学籍番号が近い人同士で集まりがちですが、学科が分かれておらず、人数が多いので徐々にいろいろなタイプの友達ができます。授業のコマ数があまり多くなく、割と自由な時間が多くとれます。ワイワイ騒ぐのが好きな人もいる一方で、公務員を目指して勉強している人や簿記の勉強をしている人もいて、全体的には二極化が進んでいます。

【時間割の例】※太字は専門科目

専門科目	外国語科目	教養科目・その他
------	-------	----------

1年生

	月	火	水	木	金
1	教養科目	教養科目	AEC (英語)	教養科目	基礎演習
2	AEL (英語)	微分積分 入門	教養科目	教養科目	
3	アカウンティング講座・経営戦略シミュレーション	初級経済学			統計学
4		第二外国語	健康・スポーツ 科学実習基礎	第二外国語	
5		データサイエンス基礎学			

2年生

	月	火	水	木	金
1			経済数学	中近世日本経 済史	金融論
2	中級マクロ経 済学	経済政策基礎 論			中級マクロ経 済学
3					
4		ゲーム理論			総合商社の グローバル戦略

【授業紹介】

経済学のフロンティア(1年)

→オムニバス形式*でそれぞれの先生が自分の研究の分野について授業してくれます。色々な分野を知ることができ、さらに最先端の研究などが学べるので、とても役に立ちます。

*オムニバス形式…講師の先生が授業ごとに変わる形式のこと。

アカウンティング講座・経営戦略シミュレーション(1~4年)

→公認会計士の先生から会計や戦略的コストマネジメントに関する基礎知識を学びます。この授業を受けることで、ビジネスに必要不可欠な会計学と経営学の知識が身に付きます。

中級マクロ経済学(2年)

→経済学を2つに大別した分野のうち、個別の経済活動を集計した一国経済全体を分析する分野です。この科目を学ぶことで、経済の基礎が身に付き、ニュースが理解できるようになります。

経済政策基礎論(2~4年)

→実際に行われている様々な経済政策の背景や効果について学びます。各経済政策の背景にある共通した基礎的な考え方を理解した上で、主要な経済政策について経済学の観点から考察する授業です。

法経総合概論(2~4年)

→法学部と一緒に受けられる授業です。一つのテーマについて法学部と経済学部がそれぞれの視点から考えるので、自分の学部とは異なる考え方を学べて面白いです。

財政学(3~4年)

→ミクロとマクロの知識をもとに、国家や地方公共団体の財政収支の基礎を学びます。税金の問題やコロナショックによる政府の対応について考える力がつきます。

【大学卒業後の進路】



【併願校】

同志社大学(経済学部共、商学部一般)、関西学院大学(経済学部一般)、立命館大学(経済学部共、政策学部共)etc.

*一般=一般選抜、共=共通テスト利用入試(R3 年度~)

【アピールポイント】

- ・神戸大学の経済学部はネームバリューがある。(2年生 M さん)
- ・ゼミがかなり優秀だから、本気で経済を学びたい人にとって環境がいい。(3年生 A さん)
- ・キャンパスが綺麗、モダンな建物。(1年生 N さん)
- ・学科が細かく分かれていなかから、個人の行動力によっては大人数と知り合える。
(2年生 K さん)
- ・オシャレな人が多い。(1年生 R さん)
- ・将来の選択肢がとても広い。(1年生 H さん)
- ・経済学部は就職の選択の幅が広い。(4年生 I さん)
- ・広い視点で世の中の仕組みを見ることができる。(4年生 S さん)
- ・広く様々なことを学べるのでゆっくり進路を決めたい人におすすめ。(3年生 E さん)